

楽天証券の「ポイント投資」、 2019年日経優秀製品・サービス賞 優秀賞を受賞 - 「投資の大衆化」を実現するサービスとして成長 -

楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都世田谷区、以下「楽天証券」）は、楽天証券が提供する「ポイント投資」サービスが、株式会社日本経済新聞社（以下「日本経済新聞社」）が主催する「2019年日経優秀製品・サービス賞（第38回）」において、「優秀賞 日経ヴェリタス賞」を受賞しましたのでお知らせします。

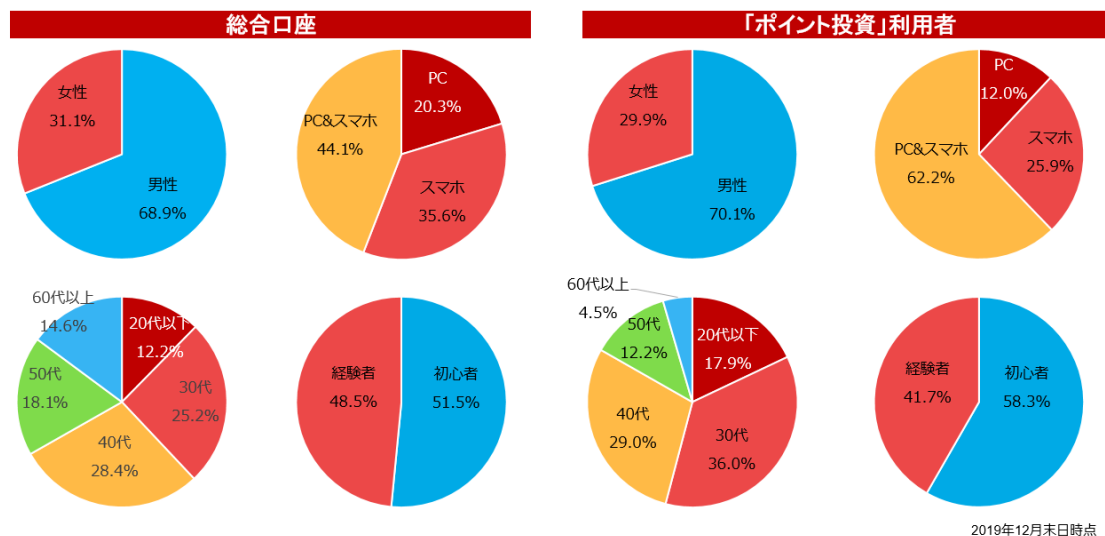
「日経優秀製品・サービス賞」は、日本経済新聞社が、毎年1回、特に優れた新製品・新サービスを表彰するもので、1982年の開始以来、今年で38回目を迎えます。ノミネートは公募ではなく、日本経済新聞社が毎年その年に発表された新製品・新サービス、約2万点の中から、(1) 技術開発性、(2) 価格対効果性、(3) 業績寄与度、(4) 成長性、(5) 独自性、(6) 産業・社会へのインパクトの6点の審査基準を元に審査委員会を開き、約40点の受賞製品・サービスが決定されます。

今回受賞した、楽天証券の「ポイント投資」は、楽天グループの各種サービスを利用して貯まった「楽天スーパーポイント」※1を利用して、国内株式や投資信託が購入できるサービスで、業界で初めて実際の金融商品をポイントで購入可能にしたものです。



(参考)「ポイント投資」 <https://www.rakuten-sec.co.jp/web/service/point/investment/>

「ポイント投資」の利用者の約6割は投資初心者の方であるほか、30代以下の若年層が約半数を占めており、多くの方が持つ投資への不安やハードルを下げるきっかけとなり、資産形成をはじめの方が増えています。また、サービス開始以降、楽天証券で投資信託を初めて購入する方は約3倍^{※2}に、投信積立の設定額は約4倍^{※3}に増加しております。



楽天証券は、今回の評価に満足することなく、引き続き、お客様の資産形成の一助となるべく、「投資の大衆化」を実現できる証券会社として、より一層のお客様の満足度向上に努めてまいります。

※1：「期間限定ポイント」や他ポイントから交換した「楽天スーパーポイント」は対象外。

ポイント投資（国内株式）は「楽天証券ポイント」も対象外

※2：楽天証券で初めて投資信託を購入する際に通常注文を選択したお客様について、2017年11月と2019年11月を比較

※3：投信積立設定金額について、2017年7月末と2019年11月末を比較

以上

【手数料等およびリスクの説明について】

楽天証券の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社（[楽天証券ホームページ](#)）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会